

黒金山(くろがねやま)

北村武彦

黒金山は奥秩父の主脈から外れているが、西沢溪谷を挟んで奥秩父主脈の核心部と相対しており、国師(こくし)ヶ岳、金峰山(きんぷさん)などの絶好の展望台となっており、展望の良さと深い樹林に覆われた奥秩父特有の静かな山歩きを堪能することができる。

西沢溪谷から黒金山に登り、牛首のタルから乾徳山林道に下り天科(あましな)に下った。ロングコースである。適当なバス便はなく、マイカーかタクシーを利用せざるを得ない。



2021年春から黒金山を望む

西沢溪谷バス停から遊歩道に入って西沢溪谷をたどり、七ツ釜五段の滝上流で右岸の高みに登り軌道跡に出る。トイレやテラス状の板敷がある。上流へ30分ほど行くと「黒金山登山道人口」の道標が立つ。いきなり樹林の中の急登だ。丸太土留め段は所々朽ちかけている。40分ほど登るとシャクナゲの群落に出会う。「1640分アズマシャクナゲ群落地」の標識がある。

群落地からひと登りで紅葉(もみじ)台に着く。標識が倒れているので気が付かずに通り過ぎてしまうところだ。※1道はやや西へ方向を変える。いったん傾斜は緩やかになるが、また急登となる。崩れた箇所もあるが危険はない。薄暗い尾根道を登り返すと開けた台地状の2021分標高点に飛び出る。国師ヶ岳を正面にした奥秩父主脈の山々が目の前に展開する。登山道から外れ、東へ行くと「大山祇神(おおやまつみのかみ)」と記された大岩がある。

登山道に戻り尾根筋をたどる。「お丸」を越えて牛首の登りになる。牛首は右を巻き黒金山との鞍部、牛首のタルに出る。草原が開けている。ここから黒金山を往復する。草原を少し登ると樹林帯の入り口に道標がある。コメツガ、シラベなどびっしり茂る樹林はまさに奥秩父の雰囲気そのものである。

急登して肩部に出てシャクナゲの群落をかき分けて登ると黒金山山頂に着く。山梨百名山の標柱の立つ場所は展望が利かないが、北へ少し行くと北面が開けて奥秩父主脈核心部のすばらしい眺めが広がる。

牛首ノタルに戻って青笹(あおざさ)集落へ向かう。道標をよく確認して檜尾沢に沿った東南の尾根を下降にかかる。初めのうちは草付きで心もとないが、すぐ道がはっきりしてきて林床のササの中を行くようになる。笹原が開けて「ササ原下展望台」に着く。「林道

黒金山付近略図



出合まで 25 分」の道標がある。

間もなく水場に出る。短い樋が引いてある。ひと下りで乾徳山林道に出る。右に行けば、大平(おおだいら)牧場を経て、三富(みとみ)に出られる。左は西沢溪谷下流のネトリ橋へ向けて目下工事中である。 ※2

林道を横切り、法面を右斜めに下って尾根筋に戻る。良く手入れされた林の中の古い杉道(そまみち)を下る。「牛首・黒金山」の新しい道標が点在してある。

青笹川源流の小沢を丸木橋で渡って左岸に移り、しばらくでえん堤が現れる。三つ目のえん堤を過ぎると民家が見えてくる。水路沿いに下って民家の軒下に出て細い道を行くと、青笹集落の子安地藏尊のお堂の上手に出た。

集落からひと下りで菅吹川を渡れば天科のバス停に着く。 ※3

(11年7月23日(土)歩く)

●コースタイム

西沢溪谷入口ー1時間 50分ー黒金山登山口ー1時間 10分ー2021 標高点ー50分
ー牛首ノタルー35分ー黒金山ー25分ー牛首ノタルー1時間 20分ー乾徳山林道ー1時間 20分ー青笹ー10分ー天科バス停

[計8時間 50分]

●費用

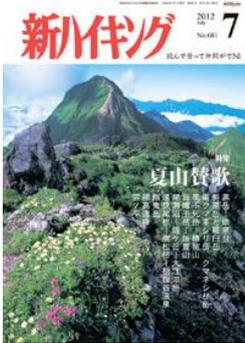
新宿＝山梨市 JR 2210円
山梨市駅＝西沢溪谷入口 タクシー 7000円
天科＝山梨市駅 タクシー 7000円

●問い合わせ先

峡東タクシー山梨営業所 0553-22-1551

●地図

雁坂峠 金峰山 川浦(2万5千)
甲府(20万)



このページの情報は、新ハイキング社発行の「新ハイキング 2012年7月号」に掲載された記事を、新ハイキング社の許可を得て転載したものです。

掲載当時の文章をそのまま掲載していますので、コースの現況や交通機関等の情報が現在と相違していることがあります。（一部修正箇所は注釈を加筆しています）

実際にコースを歩いてみて、「がけ崩れで通れなくなっている」「コースが付け変わっている」「新しく標識ができている」などの情報がありましたら、山梨市観光協会（山梨市役所観光課内）まで情報をお寄せください。

-
- ※1 新しい標識が設置済み。
 - ※2 西沢溪谷まで林道は平成27年に完成。（ただし、ここから西沢溪谷までの間は通年通行止）
 - ※3 天科バス停は、山梨市営バス（山梨市駅～西沢溪谷入口）と山梨交通（塩山駅～西沢溪谷入口）とで場所が異なります。詳しくはこちらをご覧ください。